



2025年12月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ ア ル ゲ イ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 岩 本 裕
(コード番号: 5532 東証グロース市場)
問い合わせ先 取締役 管理本部長 菊 池 史 哉
TEL. 03-6804-3904

「財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ」の開示漏れについて

当社は、固定資産の仕入資金の原資として多数の借入を実施しております。今般、有価証券報告書の作成にあたり金銭消費貸借契約の契約内容を精査した結果、直近の事業年度の末日における純資産の10%以上の債務の元本となる複数の借入について、財務上の特約が付されており、それに伴う開示が漏れていたことが判明しました。そのため、事後とはなりますが、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結につき、以下とおりお知らせするとともに、開示が遅れましたことをお詫び申し上げます。

1. 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の概要

金銭消費貸借契約の締結の理由	固定資産の仕入資金に充当するため	固定資産の仕入資金に充当するため	内装工事費等の支払資金に充当するため
金銭消費貸借契約の締結日	2025年6月25日	2025年8月19日	2025年11月25日
借入先	株式会社みずほ銀行	株式会社みずほ銀行	株式会社三菱UFJ銀行
借入金額(債務の元本)	1,750百万円	850百万円	500百万円
借入期間(弁済期限)	2035年6月30日	2028年8月31日	2030年10月31日
借入金利	基準金利+スプレッド (変動金利)	基準金利+スプレッド (変動金利)	基準金利+スプレッド (変動金利)
担保の内容	土地及び建物	土地及び建物	無担保
財務上の特約の内容	※1	※1	※2

※1: 以下のいずれかに抵触すること。

- ①各事業年度末日の貸借対照表における純資産の部の金額を、直前の事業年度の末日の貸借対照表における純資産の部の金額の75%以上とすること。
- ②各事業年度の決算期に係る損益計算書に示される経常損益が、2期連続して損失とならないようにすること。

※2: 以下のいずれかの同一項目に2期(③については2四半期)連続で抵触すること。

- ①各事業年度末日の貸借対照表における純資産の部の金額を、2024年9月期の末日または直前の事業年度の末日の貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%以上に維持すること。
- ②各事業年度の損益計算書において、営業損益の金額を0円以上に維持すること。
- ③各四半期末日の貸借対照表において、以下の計算式の自己資本比率を15%以上に維持すること。
自己資本比率=純資産合計額÷総資産額(負債純資産合計)

2. 原因と再発防止策

今回の件につきましては、当該適時開示基準の誤認並びに相互確認体制の未徹底により発生したものと認識しております。今後、かかることがないよう適時開示基準の確認体制を強化し、再発防止に努めてまいります。

3. 今後の業績に与える影響について

本件による2025年9月期通期業績及び2026年9月期通期業績予想に与える影響はございません。

以上